

環境経済委員会 所管事務調査事項 提案一覧表

No.	テーマ	調査理由等
1	エシカル消費について	現在、本市においては、エシカル消費についての理念が浸透しておらず、その理念に基づく消費行動が十分に実行されていない状況である。 エシカル消費は、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち、12番目の「つくる責任つかう責任」に関連する取組みであり、『「人」や「社会」に配慮した消費』、『環境に配慮した消費』、『「地域」に配慮した消費』等、児童労働、低賃金労働、海洋汚染、森林破壊等、社会的課題解決のための重要な消費理念である。 このことから、企業のCSRの取組みとの連動や、行政・民間・市民の三位一体での取組みを目指すためにも、エシカル消費について調査する必要がある。
2	eスポーツ分野から構築する市のブランディング	本市はこれまでも大会開催地として等携わってきたが、若年層上級プレイヤーの育成から障がい者プロプレイヤーの発掘、高齢者へのフレイル予防活用に至りこれらを総括し市の特色を打ち出すカトヴィツェ市（ポーランド）、金沢市があり、これらを参考に本市のカラーのひとつとしてこのようなeスポーツを媒体とした発展手法を調査究していくこと。
3	ネット誹謗中傷・カスタマーハラスメント対策	千葉法務局へのインターネット・プライバシーに関する相談件数は2020年229件だったものが、2022年には310件と増加しており、人権を守るための対策が求められていること、同時にUAゼンセンによると、流通系企業の従業員の5割が顧客による著しい迷惑行為カスタマーハラスメントを受けたことがあるという調査結果もある。本市はサービスの勤務者が多いこと、また本市職員の市民からのハラスメントを含めた対策と併せて、新たな課題に対する施策展開や条例制定に向けた調査や検討が必要と考える。
4	スポーツによる地域・経済活性化について	前回の委員会で、「スポーツによる地域・経済活性化」をテーマに、北広島市（ボールパーク構想）について、視察した。官民連携が大変重要であることは理解をしたところである。本市には、プロ野球、プロバスケットチーム、実業団野球などがあるなか、他都市の同様な地域をさらに視察調査することが必要と考える。 広島市には、プロ野球（広島カープ）、廿日市市に、B1プロバスケット（広島ドラゴンフライズ）、サンフレッチェ広島があり、各プロチームとも市民に愛され、地元経済に貢献をしている。 前回同様に視察をすることで、本市のスポーツによる地域・経済活性化に向けた調査を行いたい。

5	環境と福祉 ・ゴミ屋敷対策について	・目的規定として、快適・良好な生活環境の確保、他には、防災、安全、公衆衛生など規定することで、単なる生活環境から、それぞれの保護公益の観点からより踏み込んだ対応が可能になると伺いました。 ・ゴミ屋敷対策は、環境部局と福祉部局、必要に応じて市民部局とが協力して取り組むことが大切であり、市民が相互に支え合う地域社会の構築と言う地域コミュニティ像の構築に寄与すると考えます。 ・取り組み方によっては、議員提案による条例の制定にもつながるもので、先ずは、環境部局に置ける課題認識と、（参考として、福祉部局から意見聴取するとさらに良い）地域に置ける現状を把握し先進の事例を参考に、基本的な考えを整理できたら良いと考えます。
6	町内自治会のあり方について	町内自治会は住民による自治により、平時は家庭ごみの管理や回覧板等による情報共有、また、防災や災害時の対応や防災に携わり、民生委員・育成委員や地区社協等との連携など、重要な役割を果たしている。 しかしながら、活動についてはバラつきがあり、活発な活動をする自治会もあれば、一年ごとに会長が替わる自治会もある。また、若い世代の参加が少なく、高齢化しているということも耳にする。 千葉市だけの問題ではないと考えるが、今後、人口減少社会を迎えるにあたり、区役所との連携や自治会のあり方についての調査を提案する。
7	地球温暖化対策	地球温暖化対策は世界的な問題であり、本市もこの対策がまだであると思われるので、この温暖化対策について調査する必要がある。
8	経済活性化	コロナ禍も収束し、インバウンドを含め、観光政策等はますます重要となっている。雇用面なども含め、観光による経済活性化の影響を調査研究し、本市行政施策の参考とする。